



取扱説明書

保証書付

家庭用

- 業務用としてご使用にならないください。
- 他の用途でご使用にならないください。
思わぬ事故の原因になります。

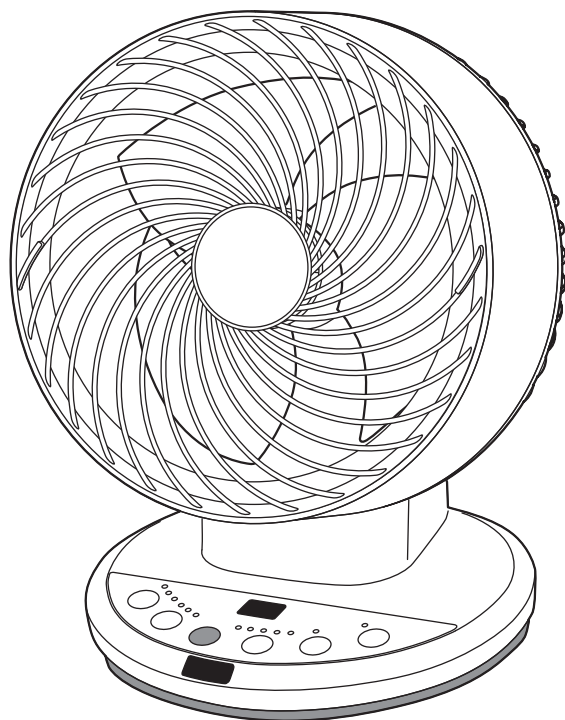
DCモーター
18cmサーキュレーター

YAR-SBD18

(ワイヤレスフルリモコン)

も く じ

安全上のご注意	1~3
各部の名称	4
リモコンの準備	5
操作部と表示部の名称	6
使いかた	7~12
設置場所について	7
運転する	8
風量を設定する	8
上下自動首振り運転を設定する	9
左右自動首振り運転を設定する	9
上下・左右自動首振り運転を設定する	10
切タイマーを設定する	10
温度を設定する(温度センサー運転)	11~12
お手入れと保管	12~16
仕様	17
故障かな?と思ったら	17
長期使用製品についてのご注意	18
アフターサービスについて	18
保証書	裏表紙



この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社サーキュレーターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。



警告



分解、修理、改造をしない

- けが・感電・火災の原因になります。
- ※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止



交流100V以外で使用したり、コンセントや配線器具（延長コードなど）の定格を超える使いかたはしない

- タコ足配線などで定格を超えると、異常発熱・火災の原因になります。また、インバーター電源などを使用すると誤作動することがあります。

禁止



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

- 発熱・感電・火災の原因になります。

指示に従う



電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。

禁止



定期的に電源プラグのほこりをふき取る

- 電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは、乾いたふきんでふき取る。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

指示に従う



電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- 結束バンドは、必ずはずす。

禁止



異臭、異常、故障、破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- けが・感電・火災の原因になります。
- ※異常・故障例
18ページの「長期使用製品についてのご注意」を参照し、異常があるときは、直ちにご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

指示に従う



電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない

- ショート・感電・火災の原因になります。

禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ショート・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

警告



お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く ●けが・ショート・感電の原因になります。



前ガードや羽根の組み立ては、確実におこなう

指示に従う ●運転中に部品がはずれて、羽根が破損したり、飛散するなどして、けがの原因になります。



可燃性ガスや引火性のもの（ガソリンやシンナーなど）がある場所で使用しない

●爆発・火災の原因になります。



浴室など湿気が多い場所、雨や水のかかる場所で使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。



**お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない**

●けが・感電の原因になります。



ガードやモーター部に布などをかけたり、かぶせてふさぐなどして使用しない

●モーターの過熱・火災の原因になります。



水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

水ぬれ禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。



前ガードや羽根の組み立てや取りはずしときは、電源プラグをコンセントに差し込まない

●意図せず運転して、破損・けがの原因になります。



羽根や前ガードを取りはずした状態で使用しない

●モーターの過熱・けがの原因になります。



ガードの中、可動部、すき間に指や棒などを入れない

●指を挟んだり、回転部に触れてけがの原因になります。
◎特にお子さまには、注意する。



すき間や開口部にピンや針金など金属物や異物を入れない

●ショート・感電の原因になります。



風を燃焼器具（ストーブなど）に向けて使用しない

●炎の飛散や不完全燃焼などがおき、健康を害したり、火災の原因になります。



包装用ポリ袋は、お子さまの手の届かない場所に保管する

指示に従う ●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして、窒息する原因になります。

注意



電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

●ショート・感電・火災の原因になります。
◎必ず電源プラグを持って引き抜く。



カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所で使用しない

●カーテンなどが吸い込まれ、破損・故障・けがの原因になります。
●不安定な場所に設置すると、転倒や落下して、破損・故障・けがの原因になります。



次のような場所で使用しない

●変質・変形・感電・火災の原因になります。
◎火気や熱源（コンロやストーブなど）の近く、直射日光のあたる場所、高温になる場所。
◎厨房や工場など油や油煙が発生する場所。
◎ほこりや金属粉の多い場所。



犬や猫などがいる部屋で使用するときは、十分注意する

指示に従う ●本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。

⚠ 注意



業務用には使用しない

- 無理な負担がかかり、破損・故障の原因になります。

禁止



屋外で使用しない

- 故障・感電・火災の原因になります。

禁止



本体やガードの上に足をのせたり、ものをのせたりしない

- 破損・故障・けがの原因になります。

禁止



運転中のガードに頭髪や衣類（ひも類）を近づけない

- 頭髪や衣類が巻き込まれ、破損・故障・けがの原因になります。

禁止



風を直接身体に長時間あてない

- 本製品は、サーキュレーターです。扇風機よりも強力な風が出るので、風を直接身体に長時間あてると、体調悪化や健康を害する原因になります。

禁止



温度を設定しているときは、ガードや羽根に触らない

- 急に運転が開始して、けがの原因になります。

禁止



手でガードや本体を押さえて、上下左右自動首振り運転を停止させたり、手で上下左右に動かさない

- 故障の原因になります。

禁止



サーキュレーターを移動するときは、次のことに注意する

指示に従う

- 設置場所が傷ついたり、故障・ショート・火災の原因になります。
- ◎ 運転中に移動させない。移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
- ◎ 電源コードを持ってサーキュレーターを引っ張らない。
- ◎ サーキュレーターを引きずらない。



運転停止直後にお手入れをしない

- ◎ モーター軸付近が熱くなっていることがあるので注意する。

禁止



落としたり、強い衝撃を与えない

- 破損・故障・けがの原因になります。

禁止



お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

- 変色・変質・破損の原因になります。
- ◎ お手入れは、12～16ページの「お手入れと保管」を参照する。

禁止



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

- 変色・変質・破損の原因になります。

禁止



コイン形電池の取り扱いには、十分注意する

- 使いかたを誤ると、傷害・発熱・感電・破裂・火災の原因になります。

指示に従う

使用するとき

- ◎ 指定以外の電池を使用しない。
〔指定電池：コイン形リチウム電池 CR2025〕
- ◎ 分解したり、充電しない。
- ◎ 炎天下の車内、火気や熱源の近く、直射日光のあたる場所、高温になる場所に放置したり、加熱したり、火の中に入れて、液体に入れない。
- ◎ 損傷（変形や傷）があったり、異物が付着した電池は、使用しない。
- ◎ 電池のパッケージに表示してある注意内容を必ず守る。
- ◎ めれた手で電池の出し入れをしない。
- ◎ ＋とーの向きを確認し、正しく電池を入れる。
- ◎ 強い衝撃を与えたり、圧力を加えない。
- ◎ 液漏れしたときは、素手で液に触れない。
※ 万一触れたときは、水でよく洗い医師にご相談ください。
- ◎ 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- ◎ 使い切った電池は、すぐに取り出す。

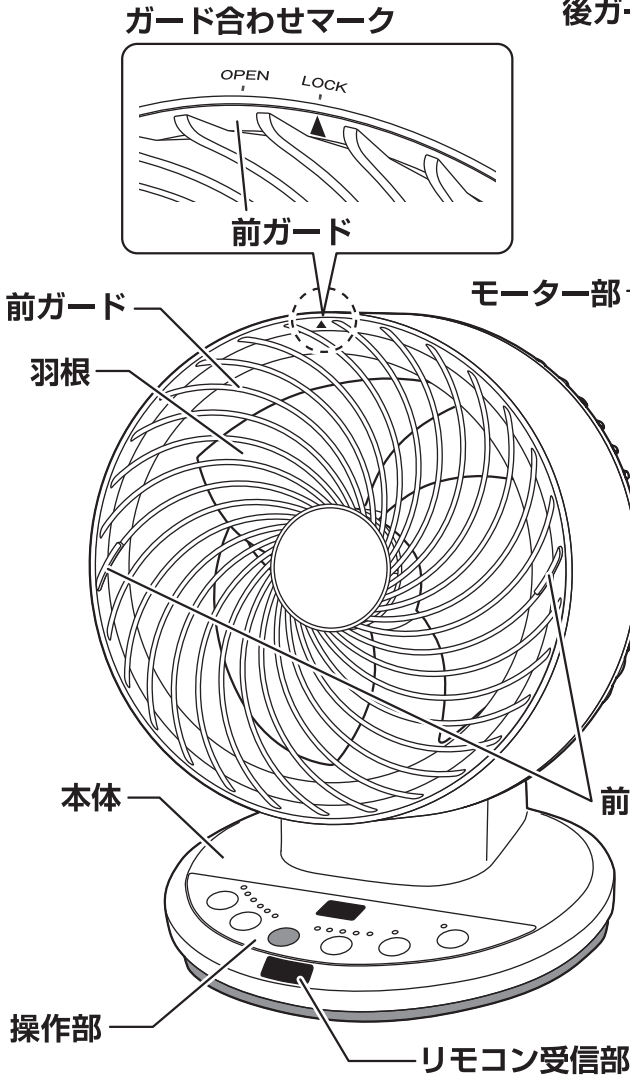
保管するとき

- ◎ 保管したり、廃棄するときは、＋とーそれぞれの電極にビニルテープを貼り、必ず絶縁する。
- ◎ お子さまが誤ってなめたり、飲み込んだりしないように手の届く場所に電池を置いたり、保管しない。
※ 万一飲み込んだときは、すぐに医師にご相談ください。

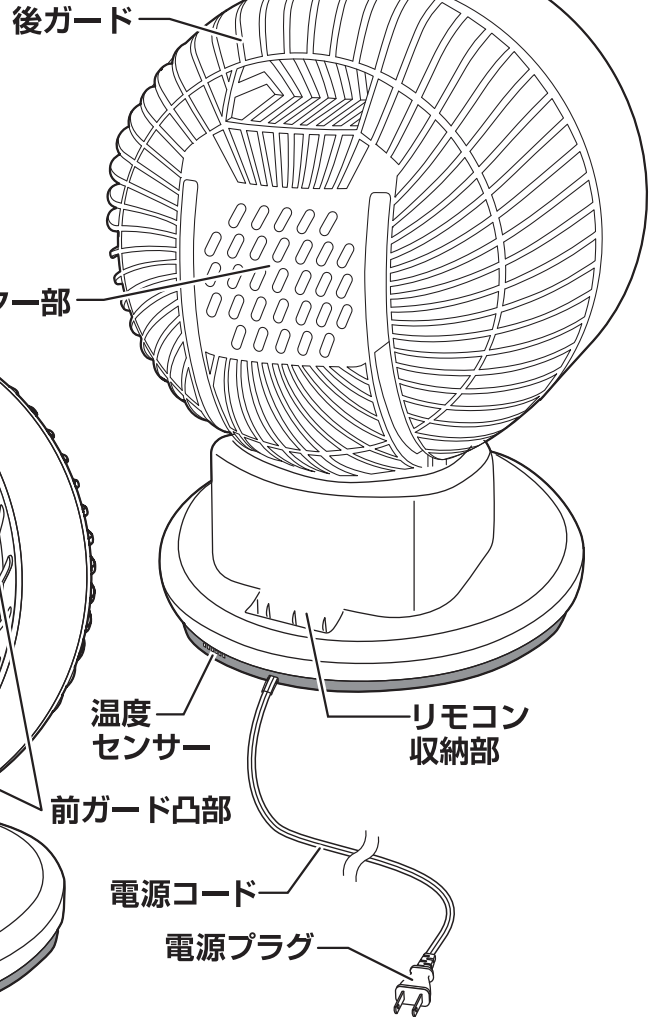
各部の名称

本体

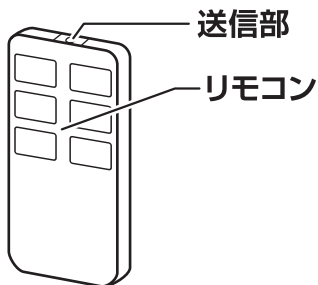
■前面



■背面



付属品



コイン形リチウム電池
(CR2025:1個)

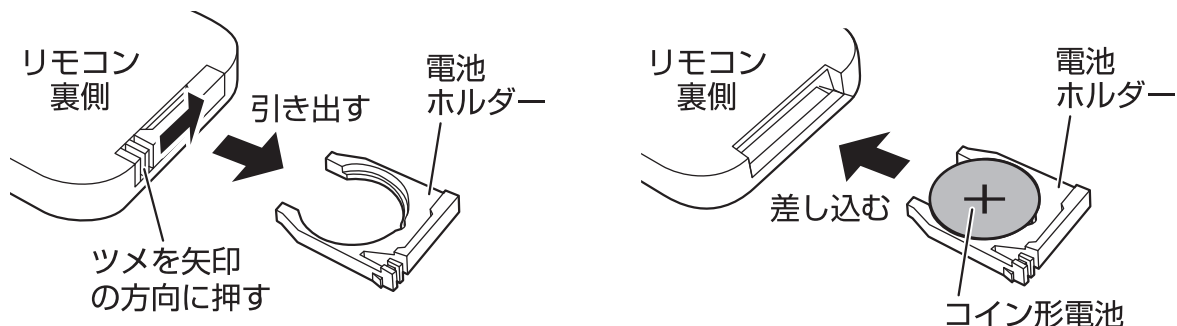


●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

リモコンの準備

コイン形電池の入れかた

- 電池ホルダーのツメを矢印の方向に押しながら、電池ホルダーを引き出します。
- 電池の+側を上にして電池ホルダーにのせ、電池ホルダーをリモコンに差し込みます。



※付属のコイン形電池は、テスト用のため早く消耗することがあります。リモコン操作ができなくなったときは、電池を交換してください。

※交換用電池は、市販のコイン形リチウム電池 CR2025 1個をお買い求めください。

+ (プラス側)
- (マイナス側)

⚠ 注意

❗ 電池を保管したり、廃棄するときは、+と-それぞれの電極にビニルテープを貼り、必ず絶縁する。

指示に従う

- 発熱・感電・破裂・火災の原因になります。
- ◎電池を廃棄するときは、自治体の指導に従って廃棄する。



操作のしかた

- リモコン送信部をリモコン受信部に向け、ボタンを押して操作します。
- リモコンで操作できる範囲は約3mです。
- 次のような場所では、リモコンで操作できないことがあります。
 - ◎リモコン送信部とリモコン受信部の間に障害物（羽根やガード含む）がある場所。
 - ◎リモコン受信部に直射日光や照明器具などの強い光が当たる場所。
 - ◎インバーター照明器具を使用している場所。

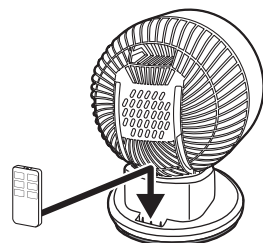
ご使用上の注意

※リモコンを落としたり、踏んだり、リモコン送信部を傷つけたり、液状のものをかけないでください。

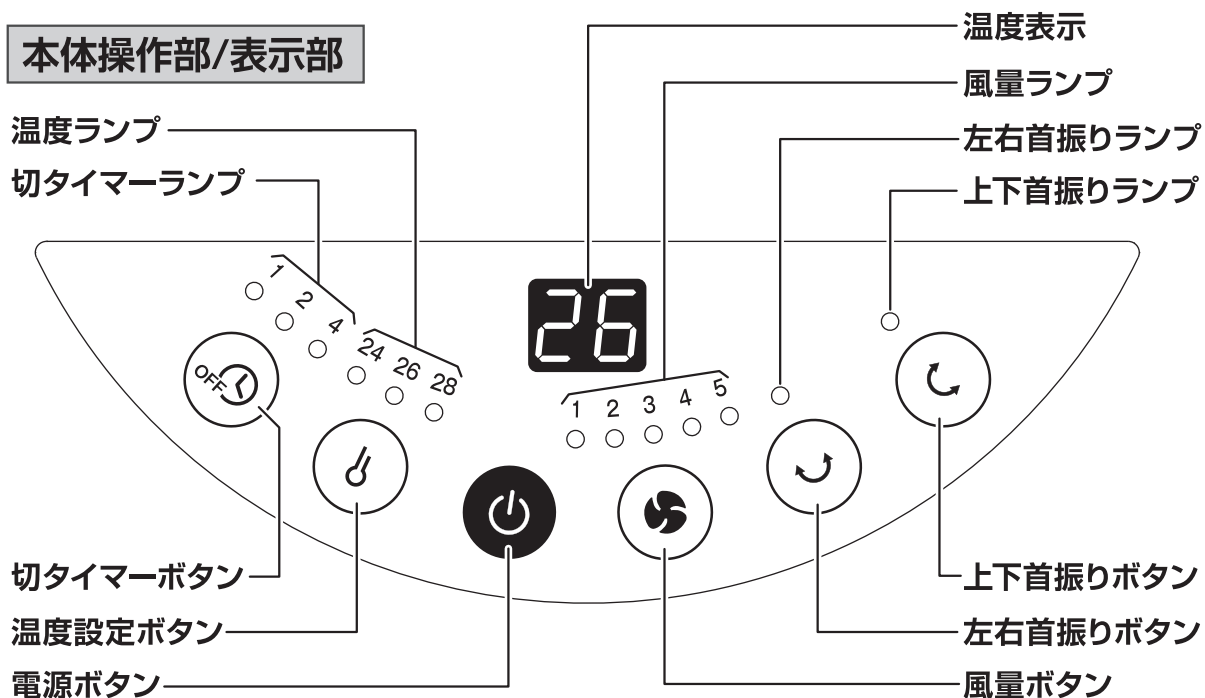
リモコンで操作できなくなる原因になります。

リモコンの収納

- リモコンを使用しないときは、本体背面にあるリモコン収納部に収納します。



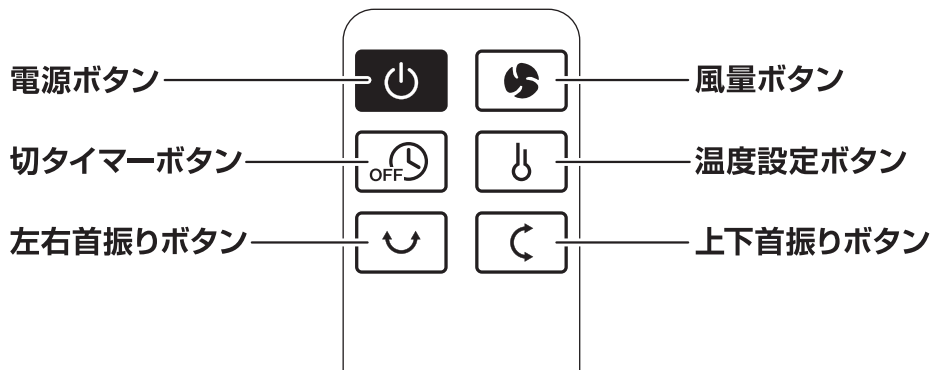
操作部と表示部の名称



お知らせ

- 本体操作部や表示部の一部が暖かくなることがありますが、故障ではありません。

リモコン操作部



お願い

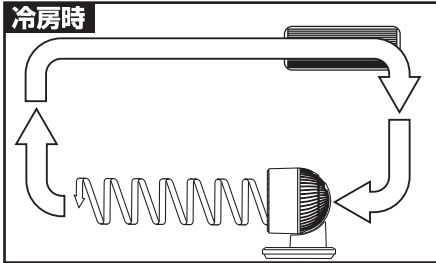
- ※各ボタンを押すときは、ボタンの中央部を押してください。
- ※各ボタンは1つずつ押し、2つ以上のボタンを同時に押さないでください。

使いかた

設置場所について

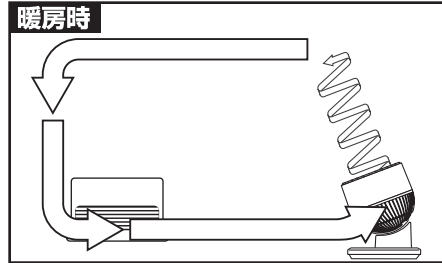
※カーテンなどの障害物がなく、水平な床や机に置いてください。

●空気を循環したいときなどに自動首振り運転を併用すると効果的です。



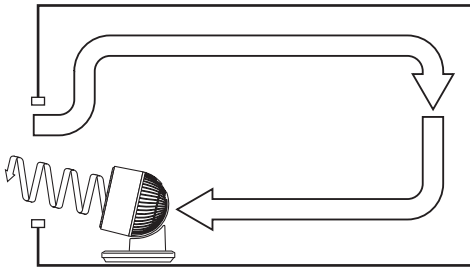
■冷気を循環

●床にたまりやすい冷気を部屋中に循環させます。



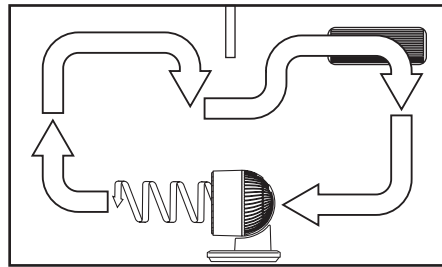
■暖気を循環

●天井にたまりやすい暖気を部屋中に循環させます。



■換気

●窓際に置いて屋外の空気を取り込んだり、屋内の空気を排出します。



■2部屋の循環

●2部屋の空気を循環させます。

※サーキュレーターをご使用になるときは、事故防止のため下記を必ずお守りください。

⚠警告



禁止

ガードの中、可動部、すき間に指や棒などを入れない

●指を挟んだり、回転部に触れてけがの原因になります。

◎特にお子さまには、注意する。

必ずお守りください

※前ガードを取りはずしての運転は、大変危険ですので絶対におこなわないでください。

電源プラグをコンセントに差し込む

●電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

⚠警告

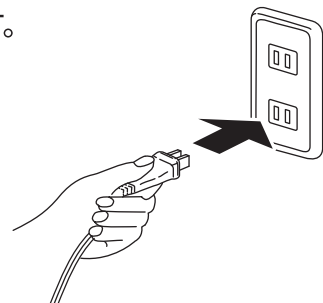


禁止

電源コードをたばねて使用しない

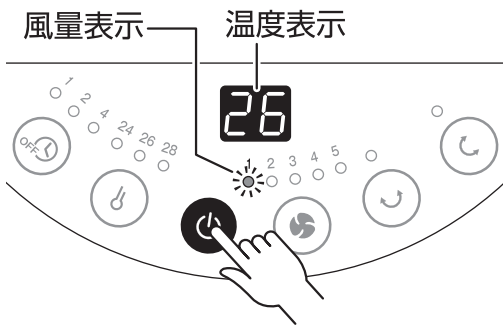
●ショート・感電・火災の原因になります。

◎結束バンドは、必ずはずす。



使いかた

運転する



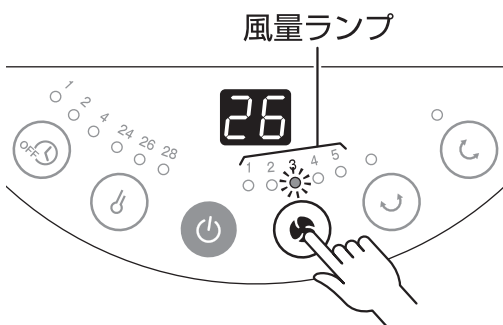
- 電源ボタンを押します。
風量ランプ「1」が点灯し、風量「1」で運転を開始します。
温度表示が点灯し、現在の室温（※1）を表示します。
- もう一度押すと運転を停止します。

運転開始後、室温が「26℃」のときの表示例

お知らせ

- ※1 室温について
温度センサーは、お部屋全体の温度を感知するものではありません。
本体周辺の温度を感知して、温度表示部に室温を表示します。
- 室温は場所によって差があります。
温度表示とお部屋の温度計の温度が異なることがあります。
運転開始直後は、内部温度が安定していないため、特に温度差が大きくなる場合があります。
- 本製品は就寝時でのご使用も想定し、ボタン操作をしない状態で約10秒経過すると温度表示と各ランプが減光する仕様となっております。
再度いずれかのボタン操作をすると表示が明るくなります。

風量を設定する



- 風量ボタンを押します。
ボタンを押すごとに風量ランプが下図のように順送りでかわります。
- 風量ランプを見ながら設定します。



風量「3」で設定した場合の表示例

お知らせ

- 風量によっては、共振音がすることがありますが、異常ではありません。

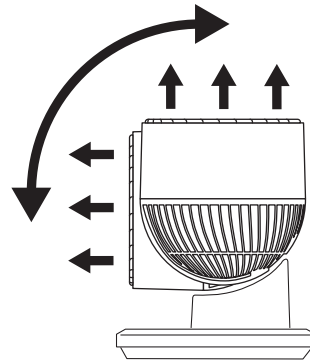
使いかた

上下自動首振り運転を設定する

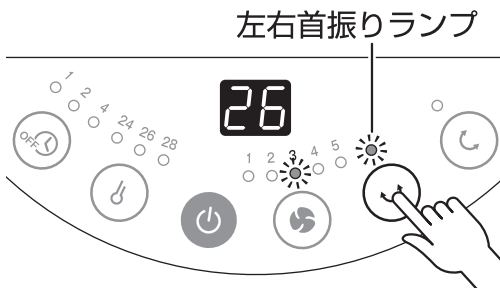


- 上下首振りボタンを押します。
上下首振りランプが点灯し、上下自動首振り運転が設定されます。
- もう一度押すと、上下自動首振り運転を解除します。

風量「3」で上下自動首振り運転を設定した場合の表示例

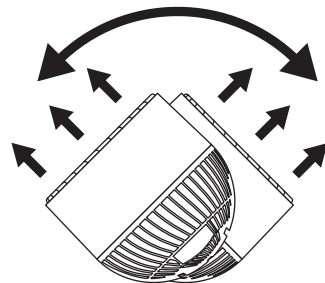


左右自動首振り運転を設定する



- 左右首振りボタンを押します。
左右首振りランプが点灯し、左右自動首振り運転が設定されます。
- もう一度押すと、左右自動首振り運転を解除します。

風量「3」で左右自動首振り運転を設定した場合の表示例

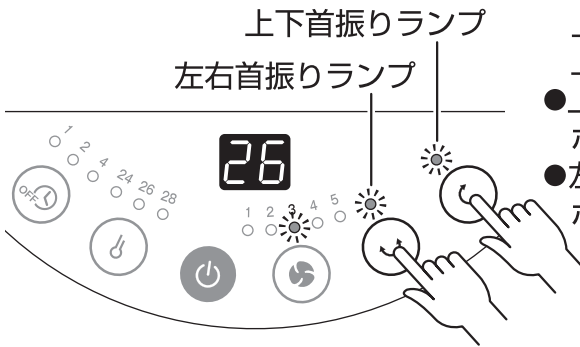


首振り機能について

- 首振り機構は、専用モーターとその他連結部品で構成されており、首振り運転中に首振りモーターの回転音やギア音などがすることがありますが、異常ではありません。
※異常と思われる音がするときは、販売店やお客様サービス係にご相談ください。

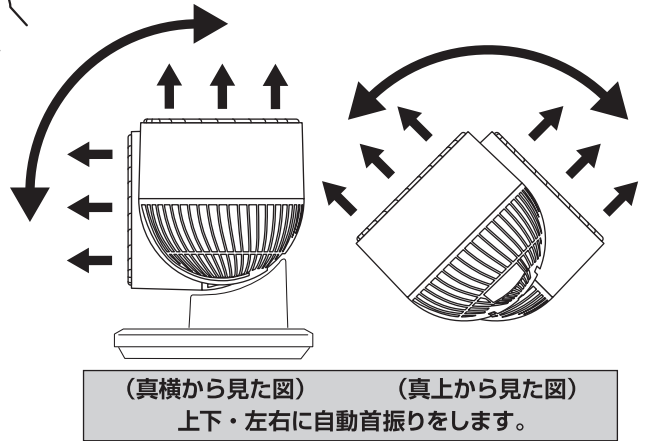
使いかた

上下・左右自動首振り運転を設定する

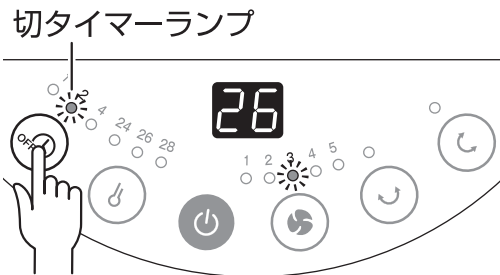


風量「3」で上下・左右自動首振り運転を設定した場合の表示例

- 上下首振りボタンと左右首振りボタンを押します。上下首振りランプと左右首振りランプが点灯し、上下・左右自動首振り運転が設定されます。
- 上下自動首振り運転に戻りたい場合は、左右首振りボタンを押します。
- 左右自動首振り運転に戻りたい場合は、上下首振りボタンを押します。



切タイマーを設定する



風量「3」で切タイマーの時間を「2」に設定した場合の表示例

- 切タイマーボタンを押します。ボタンを押すごとに切タイマーランプが下図のように順送りでかわります。
- 切タイマーランプを見ながら設定します。



- 時間が経過すると切タイマーランプが変わり、運転停止までの残り時間を表示します。
- 風量は「1」～「5」のいずれかで設定でき、設定をかえるときは、風量ボタンを押します。
- 上下・左右自動首振り運転を同時に設定することができます。

お知らせ

- 温度を設定中は、切タイマーを設定することはできません。
※切タイマーを設定するときは、温度の設定を解除してください。

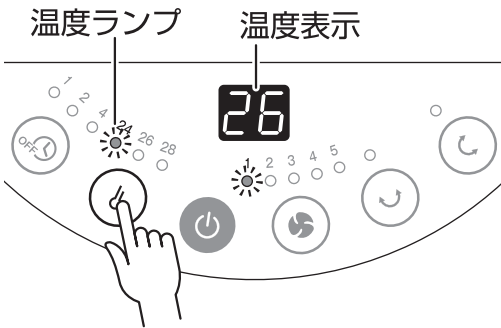
使いかた

温度を設定する（温度センサー運転）

温度を設定すると、室温（※1）に応じて自動で運転や停止をおこないます。

温度センサーで感知した室温が設定温度以上になると運転し、設定温度以下になると運転を停止します。

エアコンと併用して効率よくお部屋の空気（冷気や暖気）を循環させる便利な使いかたができます。



温度を「24℃」で風量「1」に設定した場合の表示例

温度表示は、現在室温を表示します。室温に合わせて表示が変わります。

- 温度設定ボタンを押します。ボタンを押すごとに温度ランプが下図のようにかわります。
- 温度ランプを見ながら設定します。



- 温度を設定すると自動的に風量「1」が設定されます。風量は「1」～「5」のいずれかで設定でき、設定をかえるときは、風量ボタンを押します。
- 上下・左右自動首振り運転を同時に設定することができます。

⚠ 注意



風を直接身体に長時間あてない

- 本製品は、サーキュレーターです。

禁止

扇風機よりも強力な風が出るので、風を直接身体に長時間あてると、体調悪化や健康を害する原因になります。

※就寝時に温度を設定（温度センサー運転）する場合は、特に注意してください。

お知らせ

- 温度の設定は、運転停止中または運転中のどちらでも設定できます。
- 温度の設定と切タイマーを同時に設定することはできません。
※温度を設定するときは、切タイマーを解除してください。
※切タイマーを設定するときは、温度の設定を解除してください。
- 自動首振り運転を設定中に、温度設定ボタンを押すと自動首振り運転が解除されます。
※自動首振り運転を設定するときは、温度を設定したあとに各首振りボタンを押して設定してください。
- 温度の設定を解除すると、電源が切になります。
- ※1 室温について
温度センサーは、お部屋全体の温度を感知するものではありません。本体周辺の温度を感知して、温度表示部に室温を表示します。
- 室温は場所によって差があります。温度表示とお部屋の温度計の温度が異なることがあります。

使いかた

温度を設定する（温度センサー運転） つづき

設定例 温度を28℃に設定した場合

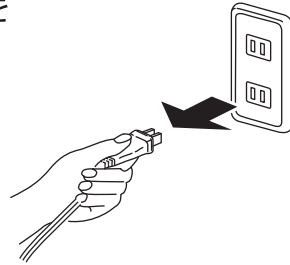
- 温度を「28℃」に設定し、風量を「1」～「5」のいずれかに設定します。
 - 上下・左右自動首振り運転を設定するときには、それぞれの首振りボタンを押します。
- 〔28℃で設定したときの動作内容は、下図のとおりです〕

温度ランプ 24 26 28 ○ ○ ☀ (28℃のランプが点灯)	温度表示に表示されている温度						● 温度を28℃に設定したとき 温度表示が28℃以上の ときは運転し、28℃以下の ときは運転を停止します。
	25℃	26℃	27℃	28℃	29℃	30℃	
	← 停止			→ 運転			

- 温度の設定を解除するまで、上記の動作を繰り返します。

使用後は

- 電源ボタンを押し、運転を停止してから電源プラグをコンセントから抜きます。



お手入れと保管

モーター部、ガード、羽根にほこりが多量に付着すると異常音、振動、モーターの過熱の原因になります。

※こまめに前ガードや羽根を取りはずし、お手入れをしてください。

警告



お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
● けが・ショート・感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
● ショート・感電の原因になります。



水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
● ショート・感電・火災の原因になります。

注意



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない
● 変色・変質・破損の原因になります。



お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない
● 変色・変質・破損の原因になります。

お手入れと保管

必ずお守りください

- ※前ガードや羽根を取りはずすときは、前ガードを正面に向けておこなってください。
(無理に正面に向けない)
- 左右の向きをかえるときは、左右自動首振り運転をして正面に向けてください。
- 上下の向きをかえるときは、上下自動首振り運転をして正面に向けてください。
- ※お手入れのときは、けがをしないようにゴム手袋を着用してください。

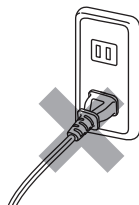
※取りはずしや組み立てのときは、けがをしないように十分ご注意ください。

警告



前ガードや羽根の組み立てや取りはずしのときは、電源プラグをコンセントに差し込まない

- 意図せず運転して、破損・けがの原因になります。



電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れをしない。

羽根、前ガード

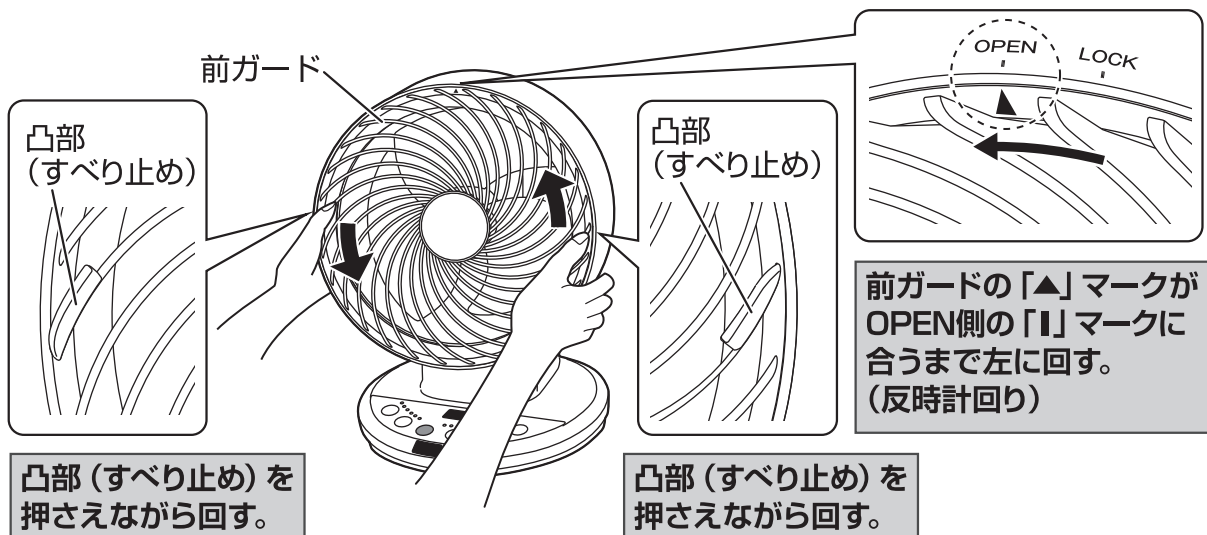
- 掃除機のソフトブラシでほこりを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水やぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。
- さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

お知らせ

- 後ガードは、取りはずすことができません。

前ガードの取りはずしかた

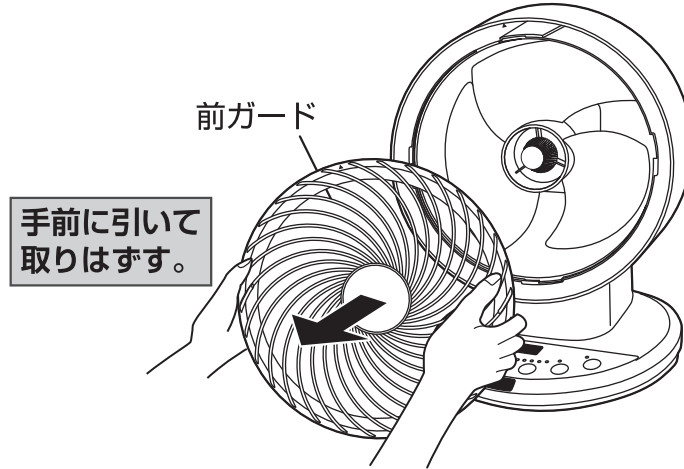
- 前ガードの凸部(すべり止め)を親指で押さえながら、前ガードを回します。



お手入れと保管

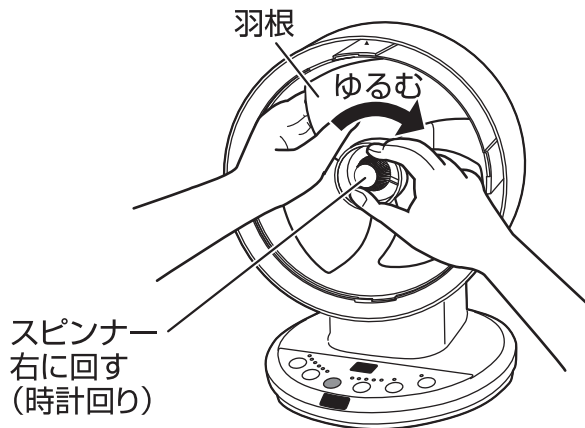
羽根、前ガード つづき

- 前ガードを手前に引いて取りはずします。



羽根の取りはずしかた

- 羽根を押さえながら、スピナーを取りはずします。



- モーター軸から羽根を引き抜きます。

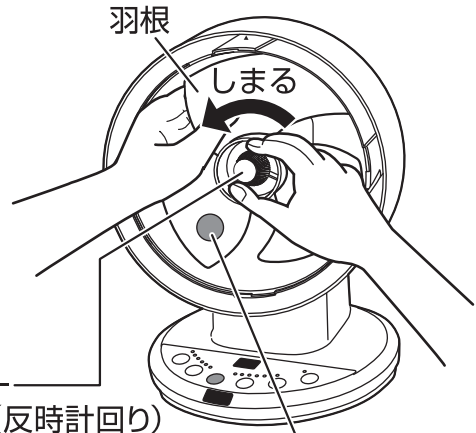
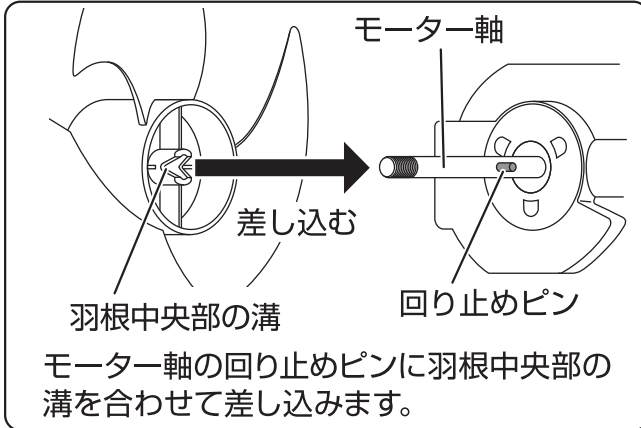


お手入れと保管

羽根、前ガード つづき

羽根の組み立てかた

- 羽根をモーター軸に差し込み、スピナーを締めつけて羽根を固定します。



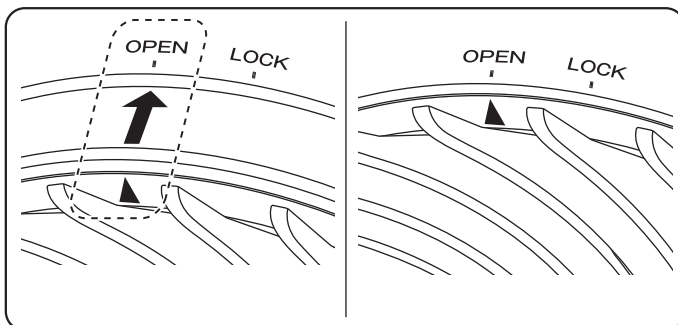
ネジ山に注意し、かたむきの
ないよう確実に締めつける。

指入れ注意シール
はがさない。

- 指入れ注意シールの貼り位置は、上図の限りではありません。

前ガードの組み立てかた

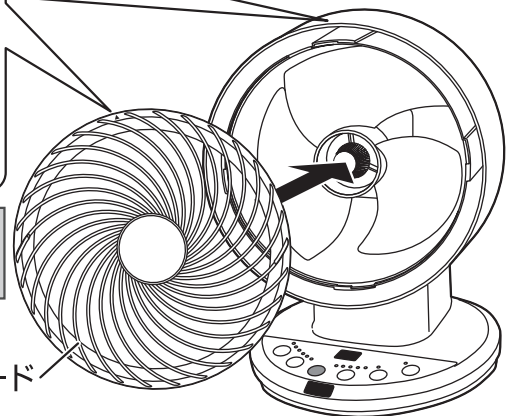
- 前ガードを差し込みます。



前ガードの「▲」マークを
OPEN側の「■」マークに
合わせて差し込む。

マークを合わせて差し
込んだ状態。

前ガード

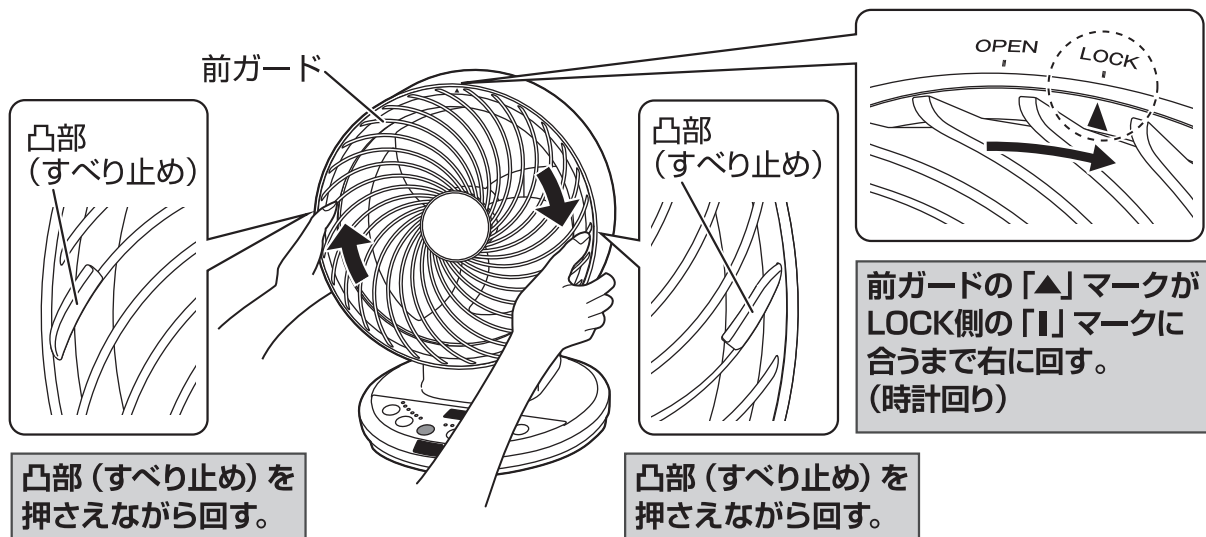


お手入れと保管

羽根、前ガード つづき

前ガードの組み立てかた つづき

- 前ガードの凸部（すべり止め）を親指で押さえながら、前ガードを回します。



お願い

- ※前ガードが確実に差し込まれていないと、前ガードが回らず取り付けられませんので、確実に差し込んでください。

本体、後ガード、モーター部

- 掃除機のソフトブラシでほこりを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水やぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。
さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- モーター軸の汚れを取ってミシン油を薄く塗ります。(さびの防止)
- お手入れ後は、よく乾燥させ包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。(湿ったまま保管するとカビの発生、異臭、故障の原因になります)

お願い

- ※スピンナーは、紛失しないよう大切に保管してください。
- ※リモコンは、電池を取り出してから保管してください。

仕 様

電 源	AC 100V (50-60Hz共用) ※DCモーターを使用
消 費 電 力	22W
製 品 寸 法(約)	幅:230mm×奥行:225mm×高さ:315mm
製 品 質 量(約)	2.3kg
コ ー ド 長(約)	1.6m
首 振 り 角 度(約)	上下:90度 左右:80度

- 製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更することがあります。
- 本体内部でDCに変換しています。

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理をご依頼される前に、下記をご確認ください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込んでください。
	●温度を設定(温度センサー運転)していませんか？	●温度表示(室温)が設定温度以下のときは運転が停止します。 設定温度以上になると運転を開始します。
羽根が回らない 風が出ない	●羽根を逆向きに組み立てていませんか？	●15ページの「羽根の組み立てかた」をご参照のうえ、正しい向きに組み立ててください。
異常な音や 振動がある	●前ガードや羽根が確実に組み立てられていますか？	●羽根を正しく組み立て、スピナーを確実に締めつけてください。 ●前ガードを正しく組み立ててください。
モーター部が 異常に熱い	●羽根、ガード、モーター部にほこりがたまっていませんか？	●掃除機でほこりを吸い取り、お手入れしてください。
リモコンで操作 できない	●電池が消耗していたり、電池の向きが間違っていないですか？	●5ページの「リモコンの準備」をご参照のうえ、新しい電池に交換するか電池を正しい向きに入れなおしてください。
	●リモコン送信部をリモコン受信部に向けていますか？ また障害物はありませんか？	●リモコンで操作できる範囲は約3mです。 リモコン送信部とリモコン受信部の間に障害物があると操作できないことがあります。

長期使用製品についてのご注意

長年ご使用の製品は、熱、湿気、ほこりなどの影響により内部部品が劣化し、発煙・火災のおそれがあります。

ご使用中に次のような症状がみられる場合は、スイッチを切りコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または本書記載の「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音や振動がする。(摩擦音、接触音、打音などがしたり、羽根がブレて振動しているなどの状況)
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかつたりと不安定。

異常があればご使用中止!!

すぐにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は、下記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

環境条件	電 圧	AC 100V
	周 波 数	50/60 Hz
	温 度	30℃
	湿 度	65%
	設 置	本書に基づく組み立て及び設置
負荷条件	本製品の最大定格での運転	
想定時間	運 転 時 間	8h/日
	運 転 回 数	5回/日
	運 転 日 数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容及び期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載いたしております。

アフターサービスについて

- この製品は、保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中の修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理(有料)については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

- FAXまたはEメールでのご相談も付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入のうえ、ご相談ください。

●FAXでの   0120-680-287

●Eメールでのご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社はお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

J-200207